















ネフローゼ症候群と診断された方へ：入院診療計画書

平成 年 月 日 御名前(御本人)

様 主治医() 受け持ち看護師()

	診断確定日より	尿蛋白陰性化後	退院後
点滴	症状によりアルブミンの点滴を行います。  		
内服	プレドニン、胃薬の内服をしてもらいます。 	内服を継続していきましょう。 	主治医の指示があるまでは、必ず内服薬を続けて下さい。 退院後の内服薬について、薬剤師から説明します。 
診察	主治医の診察があります。 毎週月曜日・水曜日の午前中に部長回診があります。 毎日、検温、血圧測定、体重測定があります。		
検査	尿検査は毎朝行います。必要時尿をためる検査をします。 症状、検査所見により腎生検が必要になります。 		
食事	原則的に減塩食がです。(アレルギーがある場合は、禁食に気を付けます) 浮腫が強い間は水分制限をします。 		特に制限はありませんが、濃い味付けは控えましょう。 
活動	浮腫が強い間はベッド上安静です。(トイレ・洗面可) 	安静解除となります(プレイルーム可)。	
清潔	必要時、看護師が体を拭くお手伝いをします。 	シャワー浴ができます。 	
説明指導	主治医より病状・入院期間・検査・治療・合併症について説明します。 看護師から入院生活の説明や病棟案内をします。 内服開始時は、主治医および薬剤師より薬の説明をします。  	退院後に使用する、蛋白質試験紙の使用方法を説明します。 看護師から退院後の注意点についてパンフレットを用いて説明します。 退院前に外泊可能です。 	退院後も自宅にて蛋白質試験紙を用いて尿検査を続けてもらいます。 風邪をひかないよう気をつけ、規則正しい生活を送りましょう。 次回外来受診日には必ず来院して下さい。

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査を進めて行くに従って変わりうるものである。

注2 入院期間については現時点で予想されるものである。

平成18年 1月改正

姫路赤十字病院 小児科